

宅地概要(第一次スクリーニング結果)									
盛土番号	①	宅地名	太陽ニュータウン		造成(許可)年代	S49～S50			
所在地住所	宮城県亶理郡山元町 浅生原地内								
盛土形式	■ 人工造成地 (■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜面								
盛土形状	盛土面積 A	3,000m ² 以上	盛土幅W	不明	盛土距離 d	不明	天端幅L	不明	
	盛土高さ H	不明	盛土厚さD	不明	原地盤勾配 α	不明			
宅地概要(第二次スクリーニング計画の作成)									
優先度評価項目		判定(記事)							
①	盛土及び擁壁の形状と構造が標準的な形状と構造に該当	☐ 非該当	■ 該当 ()						
②	宅地地盤・擁壁・法面の変状	☐ 有	■ 無 (一部、宅地擁壁に亀裂があるが軽微なもの)						
③	地下水	☐ 有 ☐ 可能性有	■ 無 ()						
④	盛土の下不安定な層	☐ 有 ☐ 不明	■ 無 ()						
⑤	造成年代(基準年以前/以後)	☐ 以前	■ 後 (1974(昭和49)年)						
⑥	変動確率	☐ 大	☐ 小 (一次スクリーニング結果が収集できないため不明)						
【総評】	当該盛土は谷埋め盛土であり、盛土および擁壁の形状と構造は標準的なものとなる。宅地内道路の路面補修跡(写真⑤、⑥)、宅地擁壁の一部に亀裂(写真④)、盛土下端のブロック積擁壁の一部にはらみ出し(写真⑬)が確認されたが、盛土全体としては安定しており、また、盛土法面等からの湧水もないことから、優先度は「B4」とした。なお、一次スクリーニング結果が収集できなかったため、変動確率は『大』として優先度評価を行っている。				想定被害形態				
					盛土のり面の不安定化によるすべり崩壊				
					優先度 B4				
宅地概要(第二次スクリーニング)									
【総評】									

【位置図】	
全盛土造成地位置図 (亶理郡山元町)	
※宮城県HP「大規模盛土造成地マップについて」より： https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kentaku/daikibomorido.html	
【断面図】	
変 動 予 測 調 査 後	
【工事の記録】	
【点検の記録】	

盛土番号	①	宅地名	太陽ニュータウン	造成許可年代	S49～S50	盛土形状	盛土面積A	3,000m2以上	盛土幅W	不明	盛土距離d	不明	天端幅L	不明
所在地住所	宮城県巨理郡山元町 浅生原地内						盛土高さH	不明	盛土厚さD	不明	原地盤勾配α	不明		
盛土形式	■ 人工造成地 (■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜面					特記記事								

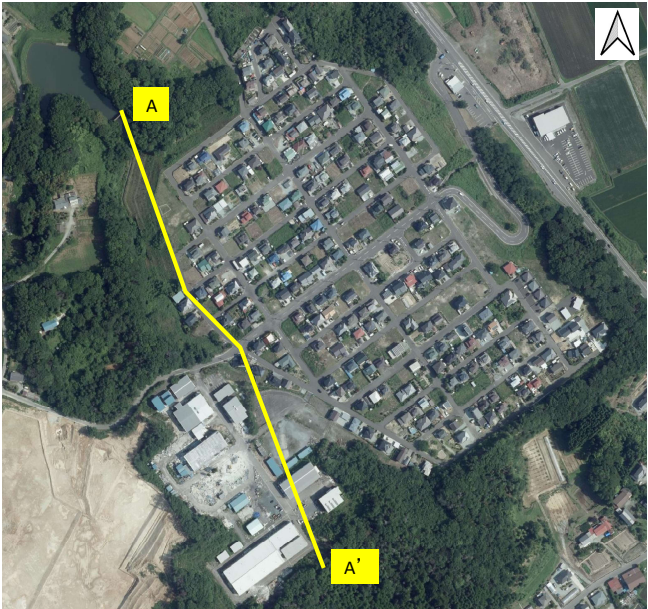
【現況写真】



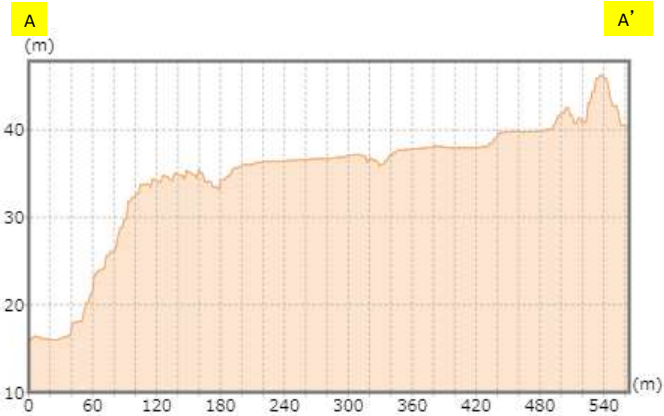
【差分図(背景：現地形図)】

第一次スクリーニング結果が収集できなかったため、図面なし

【空中写真】



【模式断面図】



※地理院地図（電子国土Web）より

様式3 (第二次スクリーニング計画の作成)

① - 3

基礎資料整理			現地調査チェックリスト									
チェック項目		判定(記事)		調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	
保全対象	・住宅	■ 有 □ 無	(24)軒 ()	2022年1月19日	降水量(mm)	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
	・公共施設等	■ 有 □ 無	□ 避難所 () ■ 道路・緊急輸送路 (宅地内道路) □ 河川 () □ 鉄道 ()	・宅地内の平面図との相違		□ 有 ■ 無 ()						
各種指定地	・その他特記事項	— ()		・盛土形状の机上調査との相違		□ 有 ■ 無 ()						
	・各種指定の有無	□ 有 ■ 無	□ 宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域 □ 人口集中地区DID □ 土砂災害特別警戒区域 若しくは土砂災害警戒区域 □ 砂防指定地 □ 地すべり防止区域	・盛土末端部の形状		— □ 法面 ■ 擁壁 ■ すりつき (ふとんかご)						
その他	・その他特記事項	— ()		土質	・原地盤材料の確認	□ 有 ■ 無 □ 礫質土 □ 砂質土 □ 粘性土 □ 岩盤()						
	・宅地内道路に路面補修跡あり(写真⑤、⑥) ・宅地擁壁の一部に亀裂あり(写真④) ・盛土下端のブロック積擁壁の一部にはらみ出しあり(写真⑬)	— ()		地質	・盛土材料の確認	□ 有 ■ 無 □ 礫質土 □ 砂質土 □ 粘性土						
優先度評価項目		判定(記事)		・既往調査資料		□ 有 ■ 無 ()						
⑤	基準年代(1974(昭和49)年)	□ 前 ■ 後	造成年代 : S49~S50	・その他特記事項		— (土質地質を確認するための資料なし)						
⑥	・その他特記事項	— ()		優先度評価項目		判定(記事)						
⑦	・その他特記事項	— (一次スクリーニング結果が収集できないため不明)		①	・盛土法面勾配	□ 急 ■ 適 勾配 (1 : 1.8)						
【平面図】				擁壁と盛土及び構造形状	・小段の設置	□ 不適 ■ 適 高さ (5) m 段数 (3) 段						
				擁壁	・法面保護工の設置	□ 不適 ■ 適						
					・ひな壇部分の傾斜	□ 急 □ 適 傾斜角 () ° ■ ひな壇なし						
					・擁壁構造の適格性	□ 不適 ■ 適 □ 鉄筋コンクリー □ 無筋コンクリー ■ ブロック積 □ その他(擁壁なし) 高さ (1~3) m 壁面勾配 (1 : 0.5)						
					・その他特記事項	— ()						
				宅地法面・擁壁・盛土法面	②	宅地地盤・亀裂・沈下・隆起	□ 有 ■ 無 ()					
					擁壁	・擁壁とその基礎の変状	■ 有 □ 無 (一部、亀裂あり(写真④))					
						・擁壁背面の変状	□ 有 ■ 無 ()					
						・擁壁の補修履歴	□ 有 ■ 無 ()					
						・ガリ浸食跡	□ 有 ■ 無 ()					
					盛土法面	・表面の不陸または凹凸	□ 有 ■ 無 ()					
						・亀裂	□ 有 ■ 無 ()					
						・排水工の変状	□ 有 ■ 無 ()					
				・災害痕跡		□ 有 ■ 無 ()						
				地下水	③	・根曲がり	□ 有 ■ 無 ()					
擁壁	・道路の変状	■ 有 □ 無 (宅地内道路に路面補修跡あり(写真⑤、⑥))										
	・その他特記事項	— ()										
	盛土法面	・盛土法面からの湧水	□ 有 □ 可能性有 ■ 無 ()									
		・擁壁水抜き孔からの恒常的な出水	□ 有 □ 可能性有 ■ 無 ()									
・ひな壇部分の擁壁前面部の出水		□ 有 □ 可能性有 ■ 無 ()										
・排水工や擁壁の恒常的な湿り		□ 有 □ 可能性有 ■ 無 ()										
地下水	・盛土法尻排水工の水没	□ 有 □ 可能性有 ■ 無 ()										
	・排水工の目地・亀裂からの地下浸水	□ 有 ■ 無 ()										
	・盛土法尻のため池等の漏水水位	□ 有 ■ 無 ()										
	・既存井戸水位	□ 有 ■ 無 ()										
盛土下層土層	④	・盛土法尻の調整池・ため池	■ 有 □ 無 ()									
	・集水地形上の盛土	□ 可能性有 ■ 無 ()										
	・盛土上ガレージの湿り	□ 可能性有 ■ 無 ()										
	・水を好む植生の有無	□ 可能性有 ■ 無 ()										
【総評】	当該盛土は谷埋め盛土であり、盛土および擁壁の形状と構造は標準的なものとなる。宅地内道路の路面補修跡(写真⑤、⑥)、宅地擁壁の一部に亀裂(写真④)、盛土下端のブロック積擁壁の一部にはらみ出し(写真⑬)が確認されたが、盛土全体としては安定しており、また、盛土法面等からの湧水もないことから、優先度は「B4」とした。なお、一次スクリーニング結果が収集できなかったため、変動確率は「大」として優先度評価を行っている。			被害形態		盛土のり面の不安定化によるすべり崩壊						
				優先度		B4						

※写真内に示す黒板記載番号(例:①-8など)は現地踏査時における整理番号



写真① 盛土上端部(道路状況)



写真② 盛土上端部(道路状況)



写真③ 盛土上端部(宅地擁壁状況)



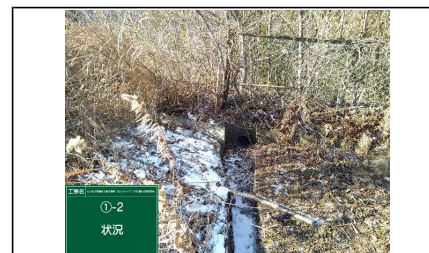
写真④ 盛土上端部(Co擁壁の亀裂)



写真⑤ 盛土上端部(道路の亀裂補修跡)



写真⑥ 盛土上端部(道路の亀裂補修跡)



写真⑦ 盛土上端部(排水溝及びフェンス)



写真⑧ 盛土上端部(排水溝及びフェンス)



写真⑨ 盛土下端部(排水溝出口及び擁壁)



写真⑩ 盛土下端部(ふとんかご)



写真⑪ 盛土下端部(縦排水路)



写真⑫ 盛土下端部(ブロック積擁壁)



写真⑬ 盛土下端部(ブロック積擁壁の一部にはらみ



写真⑭ 盛土下端部(法面保護工:ネット)



写真⑮ 盛土下端部(ふとんかご)



写真⑯ 盛土下端部(縦排水路)